

# 給食費値上げの 決定は生きるか

答 次の委員会で取り消すまで生きる



大城 毅 議員

**問** 昨年10月17日の学校給食共同調理場運営委員会で、①幼稚園、月額3000円が3100円。②小学校3800円が4500円、値上げが700円。③中学校4300円が5000円、これも700円の値上げ。時期については平成30年4月1日から新給食費にて徴収と可決された。間違いないか。それから、給食費改定の最終決定は教育委員会であることも確認する。

**教育部長** 間違いない。

**問** 通常、直近の定例教育委員会で、審議されると思うが、

されているか。

**教育部長** 平成29年10月24日の定例教育委員会で議案としてではなくて、報告事項としている。

**問** 議案にしなかった理由は何か。

**教育部長** 当時、12月補正予算、当初予算で一般会計からの給食費への補填について要求していた。まだ決定ではないため、議案とせず報告とした。

**問** その後の定例教育委員会はどうか。

**教育部長** 12月の補正予算で一般会計の給食費の補填が認め



▲中学校卒業特別メニュー

められた。また、当初予算でも一般会計からの補填があったことから、給食費は値上げしていない。

**問** 10月17日の運営委員会の決定は、今でも効力を保持しているか。

**教育部長** 決定は生きていると考えている。次の運営委員会で変更があれば、それは変わると認識している。

**問** 子供の貧困解消が課題となっている。他自治体で給食費の助成が行われている。本町でも努力すべきではないか。

**教育部長** 他自治体の給食費助成を、注視していく。

こんな質問もしました

- シルバー人材センター実現に向けて調査を
- 会議録の作成期限をもっけるべきでは